八潮中央総合病院 院外広報誌

YBJGA 005-23

ふれあい

2023 1月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院　編集:広報委員会　〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地　TEL.048-996-1131／FAX.048-997-2135

2023年 4月

八潮中央総合病院は開院50周年を迎えます

本年3月、50周年記念特集号を発行いたします。

謹賀新年

「皆様への感謝を日々の診療に」

八潮中央総合病院　院長 本間 恵

新年明けましておめでとうございます。

平素より当院への御支援、御指導心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の話題だけでなく、思いもよらない度肝を抜くようなニュースが相次ぐ中、物価の高騰などもあり将来への不安を感じる方も多かったのではと存じます。働き続けるにしても体が資本。当院ではここ数年で体に負担の少ない内視鏡下の手術も飛躍的に増加、入院期間も短くなりました。当たり前ではありますが病気はこじれないうち早めに対処する方が体にもお財布にも優しいのです。

今春開院50周年を迎えそれぞれの職員が皆様への感謝を胸に、患者さまとご家族の方々に喜んでいただける医療を提供できるよう日々勉強し技術を磨いてまいります。

本年も八潮中央総合病院をどうぞよろしくお願いいたします。

11/8 中学生が看護師に職業体験インタビュー

インタビューされた生徒さん
大原中学校1学年

中野 杏梛（なかの・あんな）さん
柴丹 美歩（しばに・みほ）さん
山﨑 柚南（やまざき・ゆうな）さん
坪谷 帆南（つぼや・はんな）さん

お答えした看護師
3B病棟看護師 高橋好江係長

中野 杏梛さん　柴丹 美歩さん　山﨑 柚南さん　坪谷 帆南さん　3B病棟/高橋好江係長

11月8日（火）午後、八潮市立大原中学校1学年の生徒さん4人が、校外学習の一環として当院を訪れ、看護師の仕事についてインタビューしました。当日は、3B病棟の高橋好江係長が対応させていただきました。

質問は、看護師の仕事の内容ややりがいなど10項目ありましたが、それぞれ丁寧にお答えいたしました。

その一部をご紹介します。

Q この仕事をしていて良かったと思うことは…。
A いろいろな方と接して人生勉強になり成長できます。
Q 看護師になっても勉強することはありますか
A 看護師の勉強に終わりはありません。患者さまに寄り添いながら常に最新の看護を勉強しています。
Q この職業を選んだ理由は…。
A 一言でいえば、人のためになりたいと思いました。

インタビュー終了後、4人の生徒さんに聴診器を使った看護師体験をしていただきました。
4人の生徒さんはとても熱心にインタビューされ、また体験していただきました。

11/19 中学生の進路の指導者として 理学療法士を派遣

11月19日（土）午前、八潮市立大原中学校の「キャリア教育事業」が実施され、当院から指導者としてリハビリテーション科中島智博係長を派遣して、3学年の生徒を対象に進路についてのお話をさせていただきました。

この事業は、同校が全学年の生徒を対象にさまざまな職業の講師を招いて行われた事業で、生徒たちが将来の進路を考える際に働く大人に学ぶために実施されたものです。

中島係長は、理学療法士を志した理由、仕事の内容、やりがいなどをお話し、最後にアドバイスとして「可能性は無限大」「勉強は大事、健康はもっと大事」「いろいろなことに興味・関心を持とう」とお話しました。

生徒の皆さんはメモを取りながら熱心に聞いていました。

リハビリテーション科 中島智博係長

～「病院から地域へ」

手洗い教室

11/9 松之木小学校

11月9日(水)午前、八潮市立松之木小学校において、同校1学年の2クラスと支援学級の児童計80名を対象に「手洗い教室」を開催しました。

同校での手洗い教室は5年連続で開催しています。

講師は放射線科の保坂主任、メディカルクラーク課の髙橋、医療連携相談室の嶋田の3人が担当いたしました。

この日は、1時間目に1年1組、2時間目に同2組、3時間目に支援学級の順に行い、各クラスの児童の皆さんは熱心にお話を聞き、正しい方法で手洗いを実践しました。

11/22 やしおエンゼル保育園

11月22日(火)午前、やしおエンゼル保育園(八潮4丁目)において、同園の4歳児及び5歳児の合同クラス28名を対象に「手洗い教室」を開催しました。

講師は、放射線科の保坂主任、看護部の横山看護師、検査科の上條臨床検査技師が担当いたしました。参加した園児の皆さんは熱心に手洗いを実践しました。

11/29 青和幼稚園

11月29日(火)午後、青和幼稚園(八潮4丁目)において、同園の5歳児1クラス30名を対象に「手洗い教室」を開催しました。

講師は、放射線科の保坂主任、看護部の横山看護師、検査科の上條臨床検査技師が担当いたしました。参加した園児の皆さんは熱心に手洗いを実践しました。

院内の動き

11/15 夜間防災訓練

11月15日(火)午後7時から、2022年度の夜間防災訓練を実施しました。

これは夜間の火災発生時において患者さまの安全を確保するため、初期消火や、患者さまの避難・誘導・通報の行動が速やかにできるよう訓練するとともに、職員の防災意識の高揚を図るために実施したものです。

11/28 がん病薬連携研究会

11月28日(月)、「がん病薬連携研究会」をリモートで開催し、当院薬剤部の神谷主任と小澤主任が講演しました。この研究会は院外の薬剤師にも呼びかけており、多くの院外薬剤師も参加して開催いたしました。

当院では、今後も地域の医療機関の薬剤師と連携を図りながら研究会を開催してまいります。

診療統計 2022年度 ()内は月平均 4月～11月

外来患者数	109,871名(13,733名)
入院患者数	2,271名(283名)
退院患者数	2,294名(286名)
一日平均外来患者数	554.9名
救急搬入数	1,666件(208件)
紹介患者数	1,594名(199名)
手術件数　全身麻酔	632件(79件)
硬膜外・脊髄麻酔	39件(4件)

八潮中央総合病院の概要

名　称
医療法人　社団協友会　八潮中央総合病院

所在地
〒340-0814　八潮市南川崎845番地

設立年月日
昭和48年3月24日

建　物
鉄筋コンクリート造5階建・免震構造

認可病床数
250床(一般186床・緩和ケア14床・回復期リハ50床)

診療科目
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、内視鏡内科、人工透析内科、緩和ケア内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

診療時間
平　日　9:00～13:00・14:00～17:30
〈受付時間〉　8:00～12:00・12:30～16:30
土曜日　9:00～13:00
〈受付時間〉　8:00～12:00

※日・祝日は休診。但し救急外来は24時間受付しております。

新春特別企画 寄稿

わたしの健康法

新年にあたり、八潮市内外で活躍する皆様にそれぞれ実践している健康法をご紹介いただきました。読者の皆様が心身ともに健康な生活を送っていただき、充実した一年となりますことをお祈りいたします。

「忙しさを楽しんで生きる」

八潮市議会議長
寺原 一行

4年前の腰部脊柱管狭窄症、昨年になって両眼の白内障、前立腺癌、と続けて手術を受けました。でもそのたびに医療機関に助けられ、今はいたって元気です。

仕事柄多忙な毎日で「休めない」という緊張感が良い刺激を与えてくれるのでしょうか。作家の佐藤愛子さんが「人間は『のんびりしよう』なんて考えてはダメだということが、90歳を過ぎてよくわかりました」とエッセイに書かれていました。これからも忙しさを楽しみながら明るく過ごしていきます。

「オンとオフ」

草加八潮消防局
消防局長 **冨田 忠彦**

私は、健康のために笑顔で生活するように心がけています。食事や運動など色々なことに気をつけていますが、少しでも疲れやストレスを溜めないように、同僚や家族をはじめ、いろいろな方と笑顔で接しています。

消防職員は危険を伴い、緊張感がある現場に向かわなければなりません。もちろん訓練、体力トレーニングで災害対応の準備は欠かせませんが、良い人間関係を構築するために、時には笑顔で人と接してオンとオフを使い分けることが私の健康法です。

「健康の大切さを実感！」

八潮市教育委員会教育長
井上 正人

コロナ禍前は、週3回程度のランニングをし、仲間とともに市内一周駅伝や各種大会にも参加していました。しかしながらランニングすらマスクをしなければ出来ない状況で走ることから遠ざかってしまいました。（最近こそ徐々に緩和されて来ましたが…）

今は手洗い、うがいの励行と柴犬2匹との散歩が私の健康維持の中心となっています。

昔から言われている『バランスの良い食事』と『適度な運動』そして『十分な睡眠』は、我々人間にとって大切なことだと歳を重ねるごとに実感している今日この頃です。

「コミュニケーションから活力を」

人権擁護委員
上田 潤子

運動嫌いで甘いものが大好きな私が改めて自分の健康法を考えますと、たくさんの人たちとのコミュニケーションが大きな役割を果たしてくれているようです。

人権擁護委員としての相談業務はもちろんのこと、自宅の学習塾では幼稚園から中学生まで60名もの子どもたちと日々接し、子どもたちの笑顔からたくさんのエネルギーをもらっています。さらに読み聞かせや平和朗読などのボランティア活動を通して、様々な方たちとコミュニケーションを図ることで活力を頂いています。

会話による心の滋養、これが私の健康法です。

「おいしいものを作って食べること」

八潮市女性相談員
大垣 怜子

自分や家族が食べたい料理を作ることで、私は元気になります。

料理にはパワーがあります。

私はストレスが多い日ほど、春巻きや巻き寿司など、疲れているのに手の込んだものを作りたくなります。何かに包まれたいのかもしれません。作っているうちに少しずつ自分の疲れが取れてくるのを感じ、食べてさらに元気になります。

家族がおいしそうに食べている姿を見てさらに元気になれます。

おいしいものを作って食べることが、私の健康法です。

「意識して呼吸をする」

八潮中央総合病院
副院長 **三村 治美**

コロナ禍になって3年が経とうとしています。マスク生活になってから呼吸がとても浅くなっていることに気付きました。

そのため、最近は朝と寝る前に意識して呼吸をする（深呼吸をするだけですが）ことを心がけています。深呼吸を朝と睡眠前に5分程行います。それを行うだけで精神的にリラックスすることが出来るようです。

朝は呼吸を整え集中力を高める、寝る前に心を鎮めゆっくり眠る体制を整え明日に備えます。

これが私の健康法です。

上尾中央医科グループ　医療法人 社団協友会
八潮中央総合病院
〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地
TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2135
http://www.yashio-cgh.jp 病院ホームページ▶

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
日本医療機能評価機構認定